

租税法研究Ⅰ

選択 2単位

吉田 貴明

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、租税法に関する判例を基礎として各自が研究成果を発表し、その内容を全員で議論します。租税法に対する理解を深めるとともに、修士論文の執筆の端緒とすることがねらいです。

2. 授業の到達目標

以下の2点を目標とします。

- ①判例研究を通じて、租税法の論点をめぐるさまざまな議論を正確に理解すること。
- ②修士論文の執筆に向けて、資料の収集、論点の整理、学術的文章の書き方等を修得すること。

3. 成績評価の方法および基準

演習への貢献度(報告の内容、議論への参加態度)により総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

中里実ほか編 『租税判例百選(第6版)』 (有斐閣)

参考文献

金子宏 『租税法(第23版)』 (弘文堂)

金子宏ほか編著 『ケースブック租税法(第5版)』 (弘文堂)

5. 準備学修の内容

報告者は、修士論文のテーマとこれに関連する判例を選定し、研究の成果を報告しなければなりません。

報告者以外の履修者は、指定された判例について、事案の概要、争点、判旨を整理し、議論への参加の準備を行う必要があります。

6. その他履修上の注意事項

租税法は、憲法、民法、会社法、行政法といった法律科目のみならず、会計学等とも密接に関連しています。これらの科目を十分に理解しておくことが必要です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | オリエンテーション
報告および議論の進め方について説明します。また、資料の収集方法や、法律文献の出典の表示方法等を解説します。 |
| 【第2回】 | 報告および議論 |
| 【第3回】 | 報告および議論 |
| 【第4回】 | 報告および議論 |
| 【第5回】 | 報告および議論 |
| 【第6回】 | 報告および議論 |
| 【第7回】 | 報告および議論 |
| 【第8回】 | 報告および議論 |
| 【第9回】 | 報告および議論 |
| 【第10回】 | 報告および議論 |
| 【第11回】 | 報告および議論 |
| 【第12回】 | 報告および議論 |
| 【第13回】 | 報告および議論 |
| 【第14回】 | 報告および議論 |
| 【第15回】 | 総括 |